

長寿社会における生涯学習の在り方について(概要案)

現状と課題

●人生100年時代の到来

「高齢社会」という言葉の持つ、マイナスのイメージから脱却し、健康で、生きがいをもって高齢期を迎えるためには、人生100年時代を想定した人生設計を行うことが必要

●高齢者の実態とイメージの乖離

社会から支えられる存在ではなく、地域が抱える課題を解決する「地域社会の主役」として活躍できる環境を整備することが必要

生涯学習

新たな価値観や高齢者観の創造

理念

生涯学習とは、学習者が自発的に行う自由で広範な学習。趣味・教養のみならず、社会との関わりを通して個人の生き方や考え方に変化をもたらすあらゆる活動を含む。

意義・役割

●生きがいの創出

学習活動や地域活動を通じた生きがいの創出により、豊かな第二、第三の人生の実現

●地域が抱える課題の解決

自立や協働の学びを通して地域が抱える課題解決の担い手として活躍することにより地域の活性化に寄与

●新たな縁・絆の構築

学習活動や地域活動を通じて社会とのつながりを持ち、地域での社会的孤立を防止

●健康維持・介護予防

体を動かすことで、健康維持・介護予防を行い、社会保障費の抑制に寄与

長寿社会における生涯学習政策の基本的方向性と具体的方策

今後の方向性

①学習内容及び方法の工夫・充実

・学習者の参画による多様な学習機会の提供

②世代別の特性への配慮

・各世代や性別に応じたきめ細かな生涯学習

③学習が困難な者への支援

・アウトリーチ型による届ける生涯学習

④関係機関相互の連携の促進

・大学等との連携の促進
・教育委員会と首長部局との連携の促進
・地縁組織とNPO等との連携の促進

⑤学習成果の活用の促進

・地域活動や就労など活躍する場の提供

⑥コーディネート機能の整備

・専門人材が連携協働できる仕組みの構築

⑦世代間交流の促進

・知識・経験の伝承、高齢者の居場所づくり

具体的な方策

①高度化・多様化する学習ニーズに対応するため、学習者の参画による協働型学習プログラムの開発及び提供

②学習活動や地域活動に係る情報の収集・データベース化、ワンストップサービスの整備

③関係機関の連携の下、コーディネーター人材の養成・研修の充実

④人材バンクや学習ボランティア登録制度の充実、学校支援や子育て支援など高齢者の活躍の場の充実

関係機関等の役割

①社会教育施設→地域における学習拠点・活動拠点

②学校→地域住民の学習活動の支援、活躍場所の提供

③大学→専門性の高い学習機会の提供、リーダー養成

④民間組織→活動機会の提供、意欲と活動のマッチング

⑤雇用主→ワーク・ライフ・バランスの推進

⑥市町村→関係機関の連携促進、多様な機会の提供

⑦都道府県→市町村の先導的な施策の支援、条件整備

⑧国→基本的な方針等の策定、地域間格差の是正 等